**まちかど　213号　令和４年12月発行号　表面　音声案内**

地域情報紙名 街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙　まちかど　荏原第一地域新聞

発行事務局　　荏原第一地域センター

事務局住所　　小山３－１４－１

電話番号　　　３７８６－２０００

FAX　　　　　 ３７８６－５３８５

各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和5年2月発行予定です。「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。

**紙面右上部掲載記事　題名　荏原東地区芸能大会**

**写真掲載有**　荏原東地区芸能大会の様子の写真

**記事内容**10月27日木曜日に荏原文化センターで、芸能大会が開催されました。荏原東地区には、第一地域センター管内に11クラブ約1400人、第二地域センターに7クラブ約600

人、第三地域センターに16クラブ約1600人合計34クラブあります。コロナが蔓延して、すべての人々が行動制限されました。特に高齢者は持病があったり、高齢ということで、より制限は厳しいものでした。家にいて、ただコロナが収まるのを待つだけの日々が続いていました。

　3年目にしてようやくウィズコロナの言葉と共に、行動を起こすことにしました。コロナに感染したら誰が責任を取るのかなど、反対の声も上がりましたが、なんとか開催にこぎつけました。蓋を開けてみると、舞踊、ミュージックベル、盆踊り、コーラス、フラダンス等みんな

一生懸命に練習して見事に発表会に臨んでいました。フラダンスでは、88歳のご高齢の方が楽しそうに踊っているのを見ているだけで、元気付けられました。観客席はソーシャルディスタンスを守り、マスクをして熱心に拍手を送っていました。成功裏に終わり、みんなホッと胸を

撫でおろしました。これからも高齢者だからと臆することなく、元気で活動していきたいと思っています。

**記事作成者**　中原共和　青木 富代

**紙面中央部掲載記事　題名　宇宙メダカ聞いたことありませんか？**

**写真掲載有**メダカの写真

**記事内容**メダカの種類は100種以上あるといわれていますが、現在品種改良が細かくなされ、かなりの品種のメダカが生み出されています。身近に観賞できるメダカですが、「宇宙メダカ」をどこかで聞いたことがありませんか。今から20年ほど前、スペースシャトル「コロンビア」に乗って日本の4匹のメダカが宇宙飛行士の向井千秋さんたちとともに15日間の宇宙飛行をしました。スペースシャトルの無重力状態で、脊椎動物では初めての生殖実験において誕生したメダカを「宇宙メダカ」と呼びます。この4匹のメダカは事前に宇宙酔いしないメダカとして選抜された雌雄2ペアです。このメダカたちは宇宙で産卵し、43個の卵が確認され、8匹がふ化しました。

　宇宙から帰ってきた親メダカ4匹は6時間後も水槽の底に沈んだまま動きませんでしたが、重力の重さで沈んでいるだけで、やがて泳ぎはじめました。これは重力のない宇宙では浮き袋を使う必要が無かったため、浮き袋の使い方を忘れてしまっていたのです。地上に戻って4日目にはほとんど正常に泳げるようになり、1週間後には産卵を開始しました。ふ化した稚魚はその後も成長し、1300匹余りに達しました。全国5000余りの希望者から抽選で304か所に配布されました。約半数が小学校や小学生でした。ご近所にも宇宙メダカの子孫が泳いでいるかもしれませんね。

【出典】(ＪＡＸＡ有人宇宙技術部門）

**記事作成者**小山四丁目　東 美佐栄

**紙面左下掲載記事　題名　品川平塚剣友会９　初陣晴れの日本武道館**

**記事内容**今年の目標としていた全日本少年少女剣道錬成大会が７月23日にやって来ました。重なるコロナ禍で2年ばかり中止されていましたが、再開されました。北は青森、南は福岡から参加し、1日目は181チーム1106名、2日目は150チーム860名の参加で開催されました。コロナ禍ということもあり、例年の3分の1ほどの参加者でしたが、念願が叶い5名の選手が参加しました。観戦者も選手1人に2名迄となり、全体で監督を含む16名で参加しました。本来であれば団体戦の試合ですが、コロナウイルス感染防止のため試合は行わず、全日本剣道選手権覇者の講話と筑波大学剣道部のお兄さんお姉さんの模範稽古の見取り稽古で進められました。

　憧れの選手権の選手や学生さんの稽古ぶりを見て、いよいよ子供たちの憧れの日本武道館の大道場で、お友達と竹刀を交えて稽古に入りました。体格のがっちりしている子、小柄でもしっかり動き回り機敏に打ち込む子、全国から剣道を志した子供たちが集った稽古会であるとひしひしと感じました。平塚剣友会の子供たちの一生懸命な姿が見られて心から安堵しました。保護者の方々も普段は見ることのできない我が子の剣道ぶりを見られて喜んでいました。

　来年は剣友会の40周年になります。お正月に日本武道館での武道鏡開きの参加を視野に入れて、記念大会の開催、子供たち全員で木刀による形の演武等、関係者の方々への恩返しに、ご招待をして、保護者の方々に喜んで頂ける子供の成長ぶりの披露を指導の諸先生と共に構成し

てまいりたいと思っております。

**記事作成者**　荏原三丁目　池田 晴夫

**紙面左上掲載記事　題名　花めぐり　ジュズサンゴ**

**写真掲載有**令和4年10月2日　佐藤自宅で撮影のジュズサンゴの写真

**記事内容**ジュズサンゴは、赤いサンゴのような実がなります。初夏から秋にかけて、数珠のように連なる小さな白い花と実を同時に楽しめるのが長所です。珊瑚色の実が数珠状につくことから「数珠珊瑚」と名付けられたと言われています。原産国は南米亜熱帯地域で高さ２ｍほどになる半蔓性、常緑多年草です。

　従来のジュズサンゴの実は、オレンジや赤ですが、品種改良の園芸種では黄色や白、ピンク色になるものもあります。南米原産の植物でありながら、繊細な枝葉に小さな赤い実が風に揺れる姿は日本人の感覚に合っていると思います。草花を愛してやまないＣさんより譲り受けたジュズサンゴ、この秋、数珠のように連なる赤い実を楽しんでいます。

　ジュズサンゴは９月２２日の誕生花です。花言葉は「ひたむきな姿勢」「移り気」。

**記事作成者**　小山台一丁目東　佐藤 年子

**紙面右下掲載記事　題名　高齢者クラブ紹介　仙寿会（荏原三丁目町会）**

**写真掲載有**仙寿会が手入れしている花壇の様子の写真

**記事内容**荏原三丁目仙寿会です。私は会長職８年目です。現在会員数は５０名です。就任から数年かけ現在、輪投げゲームとグラウンドゴルフを毎週行い、楽しんでいます。

　コロナウイルスが流行る前は貸切バス旅行、歩こう会実施等、多くの会員が参加していました。また、当会にはカラオケ愛好者も多くいるため、こちらも早く再開出来る事を希望します。

　また、喜ばしい出来事が２つほどありました。１つ目は令和３年１１月８日に品川区立総合体育館で開催された、品川区高齢者クラブ輪投げ大会で優勝したことです。上位に入り、シード権は数回にわたり頂いておりました。参加は５２チームでした。２つ目は環境保全活動の地域賞を受賞したことです。令和４年２月２６日にスクエア荏原にて行なわれた表彰式に参加しました。活動内容は、荏原三丁目公園花壇整備及び近郊道路清掃、道路交通安全等です。

**記事作成者**　仙寿会会長　樋口　聖一

まちかど　213号　令和4年12月発行号　表面　音声案内終了